

# 四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校  
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和4年 5月 2日 第2号  
TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



## 人として、一市民として

校長 鮫島 弘樹

幅の広い歩道の中央で、2人の男性が向かい合う姿を見かけたとき、私は走らせていた車を路肩に寄せて停まりました。どちらも見知らぬ人です。ただ、2人が何かもめていることだけは分かりました。1人は宅配便ドライバーのようです。力が入っているため、つかみ合う2人の腕はお互いプルプルと震えています。

「110番して！」ドライバーの要請に応え、急いで警察に通報しました。その後、通りかかったもう1人の男性とともに、暴れて逃げようとする初老の男性を、何とか押さえつけたのです。

どうやら初老の男性、宅配便を届けている間のトラックからお金を盗もうとする「車上荒らし」だったようです。

「ドアは開けたけど、ちょっと運転席を見てみたかっただけだよ！」あまりに苦しい言い訳は聞き流され、ほどなくして到着したパトカーの方へ、引きずられるように連れていかれました。

私は取り立てて正義感が強い訳でも、勇気がある訳でもありません。そんな私がとっさに車を停めた理由は、「ただ反射的に」と言うしかありません。

ただ事ではない「何か」が起きていることを知った時に、「何とかしなくちゃ！」と思うのが人間です。たとえ大したことはできなくても、「居ても立ってもいられない！」と思うのが人間です。

いま、ただ事ではない出来事が起きています。家族で楽しく食卓を囲み、毎日

元気に学校へ通い、たとえそれほど裕福でなくとも、平穏で、幸せな日々を送っていた人々の生活がめっちゃくちゃに破壊され続けているのです。

1対1のケンカなら、お互いのどこかに原因があるはずなので、よく事情を知らない第三者が軽々に「全てあなたが悪い」と決めつけることはできません。

しかし、いまウクライナで実際に起きているのは、争う気もない人々が突然命を奪われたり、傷つけられたり、生活の場を奪われたりする非道な行為なのです。

私たちは、心を持つ人間です。遠い国の出来事であっても「何とかしなくちゃ！」「居ても立ってもいられない！」という気持ちになるものです。

居ても立ってもいられず、例えば「小遣いを募金する」といった具体的な行動に出る四中生もいるでしょう。きちんとした組織が行う募金活動であれば、何らか役立ててくれるはずですが、できることはそれだけではありません。

「どんなことが起きているのか」「お互いどんな歴史を辿ってきたのか」「攻撃の目的は何か」「周りにはなぜもっと助けてあげられないのか」など、「深く知ろうとする」ことが大事だと考えます。

事実や背景をよく知ることで、自ずと次の行動が生まれてくるはずですが。

現実にも目を向け、よりよい世の中のために人として、一市民として、持てる力を発揮する。日々学校で学ぶ目的は、まさにここにあるのだ、と私は思うのです。